

※注意：過去の選挙公報です。

令和4年1月23日執行 深谷市議会議員補欠選挙（補欠定数1人）

深谷市議会議員候補者選挙公報

深谷市選挙管理委員会

<p>【いまやらねばならない事】</p> <p>いまインターネットがすさまじい勢いで進歩しており子どもたちが巻き込まれる事件や事故が多々ニュースとなっております。この状況に今後深谷市として生徒・児童にタブレット端末が全員に導入されましたが、どのように利用していくかを考えなくてはいけない時期になってきております。</p> <p>また、子どもは減る一方高齢者は日々増えておりますが、高齢者と子どもたちのふれあいの時間をとり、地域と家庭と学校が一体となり、子どもたちへの教育と高齢者のための共育が必要と考えております。また、中間層であります保護者の方々や若者たちには働くことに専念して頂きますよう子供会やPTA活動への工夫も必要と思っております。</p> <p>皆様と一緒に新時代を築いて行きますよう頑張ります！</p>  <p>岡 ひとし</p>	<p>私の抱負</p> <ol style="list-style-type: none">1・郷土の偉人淡沢栄一 の思想、理念に基づいた思いやりと笑顔あふれる活力ある町づくり。2・教育予算を拡充して、少子高齢化に備え、子供達の将来を担う人材づくり。3・震災、防災に備えた町づくり。 <p>※経歴：深谷市元職員</p> <p>※最終学歴：埼玉県立熊谷工業高校機械科卒業</p> <p>追想：27年前、阪神大震災。私は市職員2人で車に食材を買込み、一路神戸にボランティアに向かった。街はガレキの山と化し無残な姿だった。私の手料理に涙する被災者。私も心打たれ涙した。一方深谷に目を向ければ、台風で唐沢川があふれ、深夜土囊積みで汗した事が昨日の様に脳裏をよぎる。「災害は忘れたころにやってくる」早急に防災対策が望まれる。</p>  <p>つかごし 清</p>
--	--

「関係ない」ものはない
新しいことばの議会 空気
いつでもどこでもだれでも参加市政を



小林 真

そのために **投票へGO!**

○月一回市民の声をきく「もんだいカフェ」を市内各所で開催します○どんな相談もワンストップ受付。いっしょに考える民間運営の第二市役所「もんだいカウンター」を設置します○「進行事業も考え直そう運動」を展開します○多様なニーズに応える無償の教育サービス起業に民間主導で動きます○新たな私たちの生活支援サービスの誕生を提案します○周辺市町と連携しての公共交通サービス改善を呼びかけます○既存の政党、会派に属さず、市内全域のことを考えて活動します

上増田(明戸地区)出身在住・58歳
熊谷市市民活動支援センター所長(NPOくまがや理事)
立正大学 地域連携コーディネーター
認定NPO法人市民シアターエフ(深谷シネマ運営)監事
タウンニュース「Seien」「NAOZANE」ライター

1月23日(日)は投票日です。
みなさんそろって投票しましょう。
投票時間 午前7時～午後8時

なお、同日執行の深谷市長選挙は、立候補者が1人であったことから投票は行わないこととなりました。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。